

No.11

2003年10月1日号

各チームの購読料はチーム登録料に含まれています。定価（一部50円）

熊本県サッカー協会だより

発行／熊本県サッカー協会
〒860-0831
熊本市八王寺町9-60
TEL 096-334-5565
FAX 096-334-5568
発行者／◎広報記録委員会
石丸 捷一

第17回 全国少年少女草サッカー大会

MELSA熊本FCボニータ 第三位

第17回全国少年少女草サッカー大会は平成15年8月17日（日）より19日（火）までの3日間日本平運動公園球技場・清水総合運動場など21会場37グラウンドにて開催された。

熊本県より熊本ユナイテッドSCエーマとMELSA熊本FCボニータの2チームが参加し、MELSA熊本FCボニータが最終トーナメントに出場するも3位に終わった。

MELSA熊本は第20会場にてリーグ戦を行い静岡、埼玉、神奈川のチームを破り1位で通過し2組1位の愛知県の豊田サンフラワーズと1対0で勝利し決勝トーナメントに進み鹿児島県のU-12と対戦したがおしくも0-3で破れる。

尚本大会はクラブチームの大会であるため県選抜チームの参加には少々疑問がこった。決勝トーナメントに熊本県が進んだのは2年ぶりである。

優秀選手には、MELSA熊本の岡崎瑞樹選手と同じく洲上夢美選手の二名が選ばれた。

写真撮影は宮川昭彦氏



MELSA熊本FCボニータのイレブン↑



スポーツの森大津マリノスのイレブン↑

第15回 九州レディースサッカー大会

スポーツの森 大津マリノス優勝

第15回九州レディースサッカー大会は都城市母智丘公園多目的広場で9月6-7日開催された。県勢は、第1代表の大津マリノスと第2代表の城山FCが出場、両チームとも、順当に勝ち上がり、決勝は県勢同士の大戦となった。高い技術を生かし、優位に進める大津マリノスに対し、体を張った守りでゴールを割らせな

ち上がり、決勝は県勢同士の対戦となった。高い技術を生かし、優位に進める大津マリノスに対し、体を張った守りでゴールを割らせな

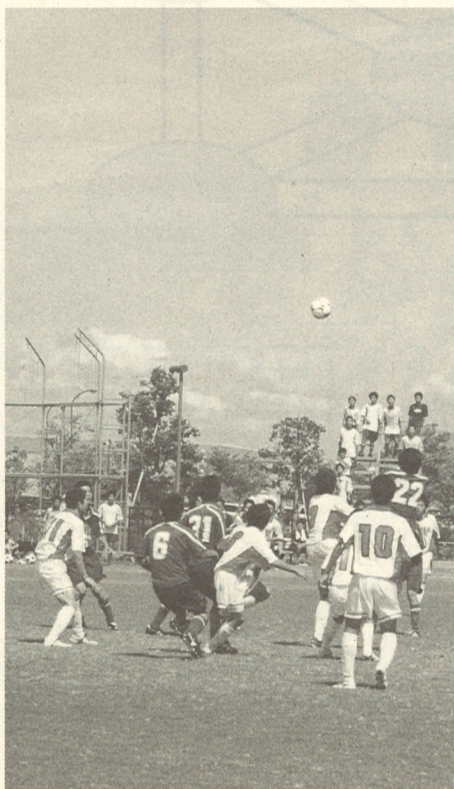
た。が、ともに決定力を欠きPK戦3対2で初出場の初優勝に輝く。大津マリノスは11月22、24日全国大会に出場する。

熊本県サッカー協会
広報委員 桂 智美

天皇杯熊本県予選兼NHK杯県サッカー選手権大会

アルエット熊本 四連覇成る

天皇杯全日本サッカー選手権大会決勝戦は平成15年8月31日(日)熊本市水前寺競技場で行われた。決勝戦は暑い中九州リーグのアルエット熊本対高校代表の熊本県立大津高校の対戦で行われ3対2でアルエット熊本が天皇杯熊本県予選を4年連続4度目の本大会出場をきめる。前半はともにミスが目立ち0対0で折返し、勝負は後半戦にもつれこむ。先にゴールしたのは九州リーグのアルエット熊本で常に先手を取る試合運びとなつた。



写真撮影 水本賢治



九州女子ユースサッカー選手権大会

熊本選抜 準優勝 全国大会出場権獲得

平成15年8月30日(土)31日(日)の両日第7回九州女子ユース(U-18)サッカー選手権大会が、大津町運動公園多目的広場にて行われた。第一日目、予選リーグの初戦、福岡との接戦を制した熊本県選抜は勢いにのり、宮崎県に7対1で圧勝、決勝トーナメントに進出した。決勝では、今年の全日本高校女子サッカー選手権を制した鵬凰を軸にした鹿児島県選抜と対戦。ディフェンスがよくしのいだだが、0対1で惜敗した。尚1位と2位は12月に高知県で開催される全日本女子ユース(U-18)に出場する。

Aグループ					※勝点 勝=3 引分=1 負=0				
	①福岡県	②熊本県	③大分県	④宮崎県	勝点	得点	失点	得失差	順位
①福岡県		1 [0-1 1-1] 2	0 [0-0 0-0] 0		1	1	2	-1	3
②熊本県	2 [1-0 1-1] 1			7 [3-1 4-0] 1	6	9	2	7	1
③大分県	0 [0-0 0-0] 0			3 [2-0 1-0] 0	4	3	0	3	2
④宮崎県		1 [1-3 0-4] 7	0 [0-2 0-1] 3		0	1	10	-9	4

Bグループ					勝点	得点	失点	得失差	順位
	⑤鹿児島県	⑥佐賀県	⑦長崎県	⑧沖縄県					
⑤鹿児島県		7 [4-0 3-0] 0	7 [3-0 4-0] 0		6	14	0	14	1
⑥佐賀県	0 [0-4 0-3] 7			0 [0-1 0-0] 1	0	0	8	-8	3
⑦長崎県	0 [0-3 0-4] 7			0 [0-1 0-0] 1	0	0	8	-8	3
⑧沖縄県		1 [1-0 0-0] 0	1 [1-0 0-0] 0		6	2	0	2	2



熊本県ジュニアユースサッカー大会

九州ルーテル中学校 初優勝

熊本県ジュニアユースサッカー大会が8月30日・31日に県営八代運動公園を会場に夏晴れの下で開催された。

この大会には中体連推薦のルーテル中学校・帯山中学校・五霊中学校とクラブチーム代表のランザ熊本が参加し、4チームのリーグ戦方式で代表権を競った。

全チームが2試合を戦い終えた時点でルーテルとランザが2勝同士で勝ち点が並び、この直接対決が事実上の決勝戦となった。

試合は前半、両チームともに攻撃的な意識を全員が持ち続け、お互いに速い展開からサイドを崩しゴール前で幾度となく決定的な場面をつくったが最後の場面では正確さを欠き、得点にはいたらず0対0で前半を終えた。

後半に入り、ルーテルは左サイドから強引に持ち込み、ゴール前で押し込んで貴重な先制点を挙げた。ルーテルペースで試合が進み、中盤でパスカットしたボールをそのまま持ち込み2点目を決めた。ランザも最後まで攻撃の姿勢を失わずチャ

ンスをつくり続け、後半残り5分に1点を返した。1点差とされたルーテルと同点をねらうランザは終了の笛が鳴るまで白熱した試合を行った。試合は2対1でルーテルがランザの反撃に耐え勝利した。県代表となったルーテル学院中学校は10月13日に大分県大野郡犬飼町(リバーパーク犬飼)で開催される高円宮杯ジュニアユース九州大会に参加する。熊本県サッカー協会 広報・記録委員 中学部会員 水本賢治

6歳以下の子ども達をサポートするサッカーガイド

JFAキッズ(U-6)ハンドブック④

おにごっこ



大人



子ども



ボール



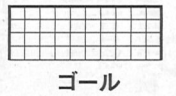
コーン



マーカー



フラフープ

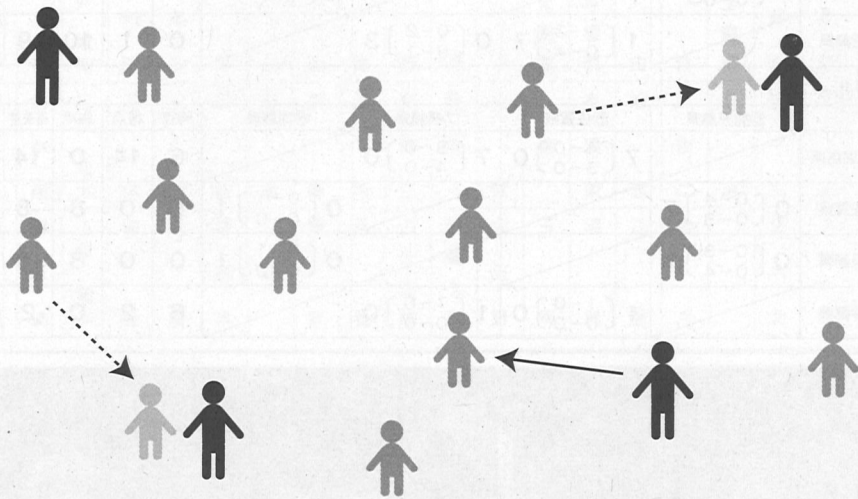


ゴール

最もポピラーな外遊びの定番です。おにごっこはただの遊びではありません。からだを動かすことのほかに物事を判断する能力が必要です。また複雑な動きを経験することでバランス感覚を養うことになります。

5 こおりおに

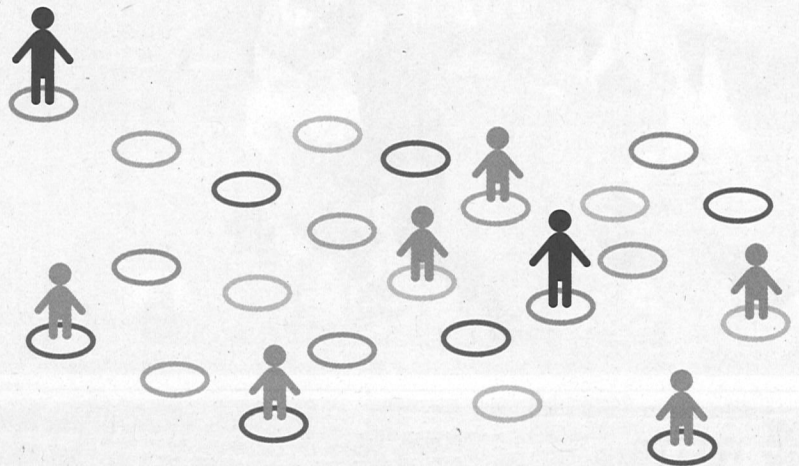
大人が「おに」になって、子どもたちを追いかけタッチします。タッチされた子どもは凍りついて、動けなくなります。まだタッチされていない子どもにタッチしてもらえると、動くことができます。大人と子どもで「おに」を交代してみましょう。



子どもvs大人の方が、子どもたちにはわかりやすいでしょう。子どもvs子どもは、発展型として、子どもたちがルールを理解した段階でとり入れてみてください。

6 フラフープおに

フラフープの中を跳びながら、おにごっこ。おにが入れない色を決めるなどオリジナルのルールを考えましょう。



ボールフィーリング



大人



子ども



ボール



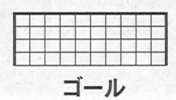
コーン



マーカー



フラフープ

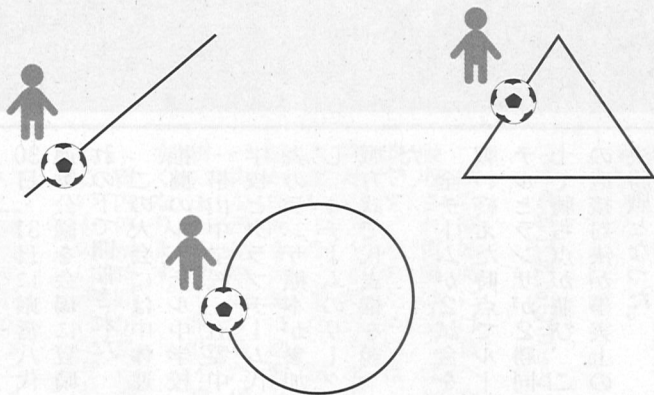


ゴール

ボールに向き合うことがサッカーの基本です。ただ足を使った練習ばかりではなく、からだ全体を使って、いろいろな形でボールに関わりましょう。

7 ボールでお絵かき

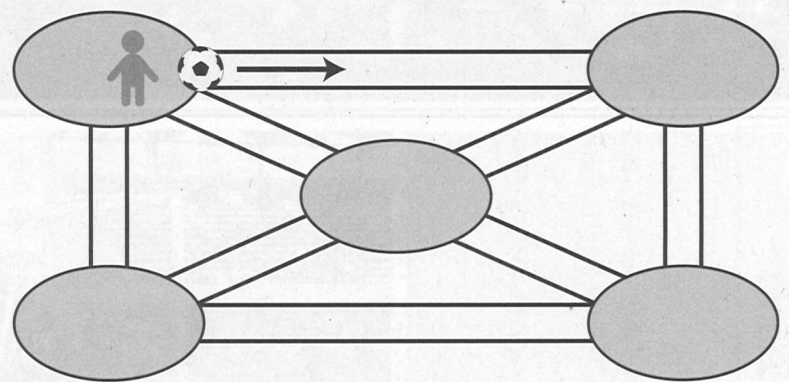
ホワイトラインなどで、いろいろな絵を描いておき、足でボールをころがしながら、絵をなぞります。



本文は財団法人日本サッカー協会、C H Q
発行のキッズハンドブ
ックより
次号につづく

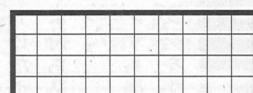
8 ボールでお散歩

あらかじめ作っておいたコースの中を、はみ出さないようにドリブル(ボールでお散歩)してみましょう。休憩所を作る等工夫してみましょう。



9 シュートゲーム

あらかじめ作っておいたコースからはみ出さないようにドリブルしてシュートしてみましょう。



熊本県サッカー協会のホームページアドレスは下記の通りです。

<http://park8.wakwak.com/~kfa/>

広報誌の注文はホームページに!!